



表紙の写真は大阪空港に舞い降りようとしている日本航空の飛行機(2020 特別塗装機)が、豊中の稲田の上空を通ったところ
です。僕が宮崎に帰省するときも、だいたい飛行機にお世話になっています。



先ごろ都道府県魅力度ランキング 2020 が発表になって、茨城がついに最下位を脱出したことが話題になりましたが、それより少し前にブランド総合研究所が行った「**都道府県『幸福度』ランキング**」において、宮崎県が昨年に続いて1位になったことが発表され、高校時代の友人から速攻でメールがきました。(^^)でもよくみると宮崎県は「**悩みがある**」人が最も多いのに、**幸福度が1位になった**という不思議な結果。ブランド総合研究所によると、「宮崎県民ももちろんさまざま悩みを抱えているし、満足できないこともある。しかし、夫婦や親子関係、学校や職場の人間関係など、**人と人とのつながりがマイナス面を十分にカバー**してくれており、それが幸福度につながっているのではないか」という分析でした。



宮崎の僕の郷里の隣町、宮崎県児湯郡木城町（以前は「木城村」）には、文豪・武者小路実篤が「人間らしく生きる」「自己を生かす」社会の実現を目指して建設した「**新しき村**」がありました。子どもの頃に見た、実篤の印象的な書画があります。



宮崎の新しき村では現在も2家族3人が暮らしているそうです

それは、色も大きさも異なる2つのカボチャの絵に、「**君は君 我は我也 されど仲よき**」と言葉を添えた実篤の書画でした。（絵にはいろんな種類があるようです）

相手も相手の価値観も尊重し、自分のそれも大切にしたい。

それぞれの「違い」を理解し互いの価値観を尊重することで、より深い絆が生まれ、チームに大きな成長の可能性が生まれるように思います。

幸福度ランキングの結果を知ったとき、その武者小路実篤のカボチャの書画を思い出し、僕もまた少し幸せ気持ちになりました。



職場においては、パワハラ防止法が今年の6月から施行（中小企業は2022年4月施行）されたところですが、一方家庭においては家庭内暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されています。今月発表された、政府や地方自治体の相談窓口寄せられたDVの5、6月の相談件数は前年同月比でそれぞれ約1.6倍に、7、8月も前年同月比1.4倍で推移しているようです。新型コロナによる外出自粛や在宅勤務などが行われている中、生活不安・ストレスもあって増えているとされています。



内閣府はDV被害者が電話で相談しやすくする為、覚えやすい4桁の**全国共通短縮ダイヤル「#8008（晴れば）」**を10月1日より開設しました。

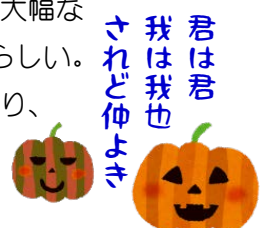
元々水面下にあった問題が、この新型コロナによりあぶり出されたのかもしれないとも感じています。

さて、表紙の写真の日本航空では、10月から英語でアナウンスをする際の「**ladies and gentlemen**」という呼びかけを止めて、性別を前提にしない「**Attention, all passengers**」や「**Good morning, everyone**」等に変えたそうです。これもまた「違い」を尊重することから生まれたことだと思います。大幅な減便で大変な経営が続く中でも、当たり前になっていたことに疑問を呈し見直す姿勢が素晴らしい。



新型コロナウィルスの収束が見えない中、アメリカではトランプ氏が中国を強く攻撃したり、日本でも「自粛警察」なんて何か殺伐した言葉がでてきたりしましたが、新型コロナは地球上、同じ大空の下に住む人類共通の問題に違いありません。

いろんな立場はあれど、実篤の言葉のように「**されど仲よき**」でありたいものです。



ハロウィンバージョンね